

山陽特殊製鋼株式会社  
2024年度中間決算説明会（Web説明会）  
質疑応答（要旨）

開催日 2024年10月31日（木）  
出席者 代表取締役社長 宮本 勝弘  
取締役常務執行役員 八並 敬之

Q. 下期の販売数量見通しを前回予想よりも少し下げているが、国内の需要環境をどう見ているか。中国での現地材への置き換わりなどもあり、最終需要は強くないと思われるが、どうか。

A. 需要見通しに関しては、顧客からの情報を精査した上で、当社の見通しに織り込んでいる。自動車向けについては、生産・出荷停止等があり、力強いとは言えないものの、上期比では回復すると見ている。建設機械・産業機械向けについては、在庫調整も終息し回復が見込める状況ではあるが、そのペースは前回予想よりも少し遅れると見ている。

中国での現地材への置き換わりに関しては、品質面等で置き換え可能な中低級品等については既に影響は発生済みと見ている。

Q. 2024年度業績予想について、鉄スクラップ市況の下がりに伴うサーチャージタイムラグによる利益面でのプラスを見込んでいるが、このプラスは来期でははく落してしまうのか。

A. 鉄スクラップ価格が現状の水準で推移すれば、サーチャージによる販売価格の下がりに伴い、プラス影響ははく落する。

Q. OVAKOの水素プラント導入は世界の鉄鋼メーカーの中でもかなり進んだ動きであると考えられるが、他拠点への展開など、その後の進捗はどうか。

A. Hofors（ホーフオーシュ）工場において水素プラントの稼働を開始したが、北欧の恵まれた電力構成もあり、コスト的にも十分対抗できるため、OVAKOの他拠点への展開を今後進めていく。一方、国内への展開については、水素のコストが現状は非常に高いため、今すぐ取り入れることは考えていない。

Q. OVAKOの7-9月期の販売数量が前年同期比で増加しているが、どこからシェアを取っているのか。また、背景としてグリーン鋼材であること以外の要因もあるのか。

A. 拡販しているのは主に中級品分野であり、ここにはFNSteel社向けのスポット受注等も含まれている。競合先は主に高炉材であるが、OVAKOはカーボンニュートラルで優位なポジションにあることで拡販できていると考えている。

Q. 欧州においては2026年から開始される国境炭素税（CBAM）などを意識し始めている時期かと思うが、OVAKOのグリーン鋼材に対し長期的視点からの引き合いなどはあるか。

A. 足元の厳しい経済状況を受け、欧州においてグリーンに対する動きに少し遅れが見られるが、これは一時的なものであり、大きな流れは全く変わっていない。大手顧客からもカーボンニュートラルで優位性のあるOVAKOとの関係は大事にしたいという声をいただいております、引き続き期待に沿えるよう注力していく。

Q. 素形材セグメントが苦戦しているが、下期をどう見ているか。減損のリスク等はないか。

A. ご指摘のとおり少し厳しい状況が続いているが、主要拠点であるメキシコの素形材子会社は短期的には会社の立ち上げで若干苦労したものの、アメリカからの生産移管という大きな傾向は変わ

らず、先々の受注については非常に堅調である。あわせてマージン改善に向けた交渉も鋭意進めており、現状では減損の懸念は顕在化していない。

**Q. 通期見通しを据え置きとしたが、内訳としては当社単独、O V A K Oともに下期の販売数量を落としており、鉄スクラップ市況の下がりによる一過性要因でカバーしているものの、実態としてはあまり良くないのではないか。通期見通しに対する当社としての評価を聞かせてほしい。**

A. ご指摘の通り、全体としては販売数量の回復が想定より遅れている状況に対し、鉄スクラップ市況の下がりによって補われている部分はある。一方で当社単独、O V A K Oともにコストダウンを積極的に進めており、この取り組みも踏まえて販売数量減を補う見通しとしている。

**Q. 当社単独の下期販売数量見通しを少し下げた背景について教えてほしい。**

A. 顧客と細かく会話させていただいた上で、慎重な見通しとした。例えば自動車向けであれば、中国のEV化影響は大きいと見ているほか、メーカーによっても跛行性があると認識している。全体としてボトムから徐々に回復しているのは確かであるが、回復度合いの遅れを踏まえ慎重に見た結果、今回の見通しとした。

以上

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。